

# 神栖市改革推進プラン（平成22年度～平成26年度）取組状況<<H24年度検証用>>

推進項目		3 健全財政の継続 ① 経常経費の削減等		プラン作成当初の実施目標				
				H22	H23	H24	H25	H26
番号	38	担当課	財政課	推進				
項目名	補助金等の整理合理化	継続	旧No.46	変更後の実施目標				
概要	補助金等交付団体の自立促進と併せ、交付期間終期の設定並びに補助金を経常化しないよう指導・監督を強化し整理統合化を図る。また、要項等に基づく補助金等の審議を継続し、適正な交付に努める。			H22	H23	H24	H25	H26
				各年度末におけるプラン全体に対する達成率(進捗率)				
				H22	H23	H24	H25	H26
				—	—	—	—	—

## ● H23年度の取組状況

H23年度の状況	単年度達成率	取組内容及び進捗状況	補助金等審議会（24年度補助要望）から、15団体、総額16,278千円の要望に対し、15,077千円（△1,201千円、△7.4%）の答申がされ、その答申額を予算に反映した。また、昨年度に引き続き、要項等に基づく補助金（要項補助）についても審議を行い、H23年度は、16事業について審議し、それぞれの事業に審議会からの意見が付され、所管課にはその付された意見に対し改善を図るよう通知した。				
	100.0%		問題点課題等	各種団体の補助金については、補助金等審議会の指摘事項に対し、改善されていない点が多く、既得権化されている部分が見られるため団体自身の意識改革が必要である。また、要項補助については、長年にわたり、要項制定当初の内容のままに交付され続けている補助金があり、所管課においては、時代の変化に合った要項等の改正が必要であるとともに、補助金の目的と効果を見極め、継続・廃止を的確に判断していく必要がある。			
プラン変更			プラン変更後の実施年度				
			H22	H23	H24	H25	H26
H24年度の目標	各種団体への補助金や要項等に基づき交付する補助金等について、徹底して事業の精査を行い、引き続き整理合理化に努めていく。各種団体への補助金については、前年度比7%減を目標にし、要項等に基づき交付している補助金については、補助金等審議会より意見のありました「要項等補助の整理合理化に関する方針」の策定に向け、補助金等審議会及び関係各課と連携しながら進めていきたい。						

## ● プランに取組むことによって得られる効果など

取組前の状況	取組後に得られる効果

● H 2 2 年度の取組状況

			行財政改革推進委員会からの評価及び指摘事項
H22年度の状況	単年度達成率	取組内容及び進捗状況	<p>H 2 2 補助金等審議会（2 3 年度補助要望）において、1 9 団体、総額 1 7, 7 4 2 千円の要望に対し、1 6, 6 6 1 千円（△ 1, 0 8 1 千円、△ 6. 0 9 %）の答申をした。また、昨年度に引き続き、要項等に基づくため審議会を経ることなく交付されている補助金（要項補助）についても審議を行い、H 2 2 年度は、1 9 事業について審議し、要項の内容や補助額に対する指摘をはじめ、終期の設定や事業そのものを見直すべきなどの意見を付して、所管課へ通知した。</p>
	100. 0 %	問題点課題等	
H23年度の目標	各種団体への補助金や要項等に基づき交付する補助金等について、徹底して事業の精査を行い、引き続き整理合理化に努めていく。なお、要項等に基づき交付している補助金については、対象としている69事業の審議がH23年度をもって終了するが、今後も、取組状況を継続して報告させ、次年度以降の具体的な取組みについては、補助金等審議会と協議しながら進めていく。		<p>A 十分評価できる ■■■■■</p> <p>B まあまあ評価できる ■■■■■</p> <p>C 評価できない ■■■</p> <p>D どちらとも言えない ■■■■■</p> <p>・今の時代に合わせた早めの対応が必要。</p>

# 神栖市改革推進プラン（平成22年度～平成26年度）取組状況〈H24年度検証用〉

推進項目		3 健全財政の継続 ① 経常経費の削減等		プラン作成当初の実施目標				
番号	39	担当課	契約管財課	H22	H23	H24	H25	H26
項目名	競争入札の見直し		継続 旧No.41	実施				
概要	一般競争入札を推進し、透明性・公平性・競争性を高めるとともに、品質・安全性の確保に努める。設計金額10,000千円以上の設計業務については、引き続き条件付一般競争入札を実施するとともに、設計金額3,000千円以上の委託業務及び800千円以上の物品購入についても、条件付一般競争入札の本格実施に向け推進していく。			変更後の実施目標				
				H22	H23	H24	H25	H26
				検討	実施	継続実施		
				各年度末におけるプラン全体に対する達成率(進捗率)				
				H22	H23	H24	H25	H26
				70.0%	100.0%			

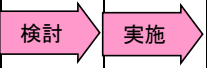
## ● H23年度の取組状況

H23年度の状況	単年度達成率	取組内容及び進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設工事の一般競争入札の拡大を図るため、平成23年9月1日から現行設計金額1,000万円以上を設計金額500万円以上に引き下げを行った。</li> <li>・ダンピング対策強化のため、低入札価格調査制度の失格基準を引き上げる改正を行った。</li> <li>・300万円以上の業務委託及び80万円以上の物品購入の一般競争入札を本格実施した。</li> <li>・測量、建築関係建設コンサルタント業務委託等に係る一般競争入札については、最低制限価格制度を試行導入した。</li> </ul>					
	100.0%			問題点課題等				
プラン変更	競争入札の透明性・公平性・競争性を図るため継続実施する。		プラン変更後の実施年度					
			H22	H23	H24	H25	H26	
			検討	実施	継続実施			
H24年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設コンサルタント業務が増加している中、業務のより円滑な執行を図るため、建設コンサルタント業務の発注に係る規則等を作成する。</li> <li>・価格と品質で総合的に優れた調達を行うため、総合評価制度の試行導入を検討する。</li> </ul>							

## ● プランに取組むことによって得られる効果など

取組前の状況	取組後に得られる効果

● H22年度の取組状況

		行財政改革推進委員会からの評価及び指摘事項					
H22年度の状況	単年度達成率	取組内容及び進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H22年5月以降、設計金額が1,000万円以上の設計業務委託について条件付一般競争入札を導入した。</li> <li>・ 神栖市職員の入札・契約に係る不正行為防止対策検討委員会の提言を受けて、入札制度の改正を検討した。(主な提言) 建設工事においては、一般競争入札を段階的に拡大していくこと。また、ダンピング対策を強化すること。業務委託及び物品購入については、一般競争入札を本格的に実施すること。</li> </ul>				
	100.0%		問題点課題等	<p>今後、一般競争入札の拡大に伴い、指名競争入札が減ってくる状況になり、地場育成の観点から、一般競争入札の事業内容によっては、入札参加資格要件を地元企業優先として入札を行っていく必要がある。</p>			
プラン変更	当初、入札制度改正をH22年度中の実施を目標と考えていたが検討に時間を要してしまい実現できなかったため、H23年度に実施予定。		プラン変更後の実施年度				
			H22	H23	H24	H25	H26
							
H23年度の目標	<p>神栖市職員の入札・契約に係る不正行為防止対策検討委員会の提言を受けて入札制度の改正を行う。実施時期は、平成23年9月1日とする。          (改正内容) 建設工事の一般競争入札の拡大を図るため、現行設計金額1,000万円以上を設計金額500万円以上に引き下げる。また、ダンピング対策強化のため、低入札価格調査制度の失格基準を改正し、引き上げる。業務委託及び物品購入の一般競争入札を本格実施する。測量、建築関係建設コンサルタント業務委託等に係る一般競争入札については、最低制限価格制度を試行導入する。</p>						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 制限額が500万円以上というのも緩い金額である。</li> <li>・ 一般競争入札を推進し、透明、公平、競争性を高めると言っているが、地場育成の観点から地元企業優先とすると競争性も低下し、強いては談合体質を生む結果になっていくので十分注意が必要。またコンサル業務は成績評定表を導入すべきである。</li> </ul>					

# 神栖市改革推進プラン（平成22年度～平成26年度）取組状況≪H24年度検証用≫

推進項目		3 健全財政の継続 ① 経常経費の削減等		プラン作成当初の実施目標					
				H22	H23	H24	H25	H26	
番号	40	担当課	契約管財課	協議・検討	→ 推進				
項目名	普通財産の有効活用		新規	販売目標面積 1,000㎡	2,000㎡	2,000㎡	3,000㎡	3,000㎡	
概要	現在市内に散在している用途の特定していない市有の普通財産1,578,598㎡（鹿島開発用地除く）について、市民及び企業等への販売や賃貸借等を推進し、土地の有効活用と管理経費の削減を図る。			変更後の実施目標					
				H22	H23	H24	H25	H26	
				協議・検討	→ 推進				
				1,000㎡	販売目標 1,500㎡	1,500㎡	2,000㎡	2,000㎡	
				各年度末におけるプラン全体に対する達成率（進捗率）					
				7.0%	39.0%				

## ● H23年度の実施状況

H23年度の状況	単年度達成率	取組内容及び進捗状況	市有地売却 雑種地 6筆 1,518㎡ 16,447,750円					
	100.0%		山林 1筆 258㎡ 479,880円 宅地 1筆 448.54㎡ 3,907,000円 その他 2筆 119.03㎡ 303,000円 合計 10筆 2,343.57㎡ 21,137,630円 草刈等管理委託 6件 3,088,887円（32,751㎡） 不動産鑑定 91件 883,050円					
		問題点課題等						
プラン変更				プラン変更後の実施年度				
				H22	H23	H24	H25	H26
H24年度の目標	H23年度に道路に面した市有地を台帳化してあるため、民間業者を活用した市有地処分制度（媒介制度）を創設し、より販売を推進する。							


## ● プランに取組むことによって得られる効果など

取組前の状況	取組後に得られる効果
市有地全体の中で、どの土地が販売条件がよいか把握できていなかった。	H23年度に公有財産管理図面・台帳を作成し、道路に面している売れ易い市有地の把握ができた。H24年度から、入札で応札が無かった土地については、民間業者を活用して、広く周知ができ販売促進が図れる。

● H22年度の取組状況

							行財政改革推進委員会からの評価及び指摘事項	
H22年度の状況	単年度達成率	取組内容及び進捗状況	<p>市有地売却</p> <p>雑種地 147㎡ : 154,000円          雑種地387㎡ : 5,667,000円          宅地 239.8㎡ : 5,100,100円          計773.8㎡ : 10,921,100円</p> <p>草刈り等管理委託 10件 1,929,670円          不動産鑑定 3件 194,250円</p>					<p>A 十分評価できる</p> <p>■</p> <p>B まあまあ評価できる</p> <p>■ ■</p> <p>C 評価できない</p> <p>■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■</p> <p>D どちらとも言えない</p> <p>■ ■ ■</p>
	77.0%		問題点課題等	希望者の購入時期と市の入札時期が合わず、市有地購入を断念した人もいた。				
プラン変更	H22年度は販売を2回実施し、販売推進を図ったが2区画だけの販売にとどまったため、H23～H26年度の目標を現状に合った数値に修正する。		プラン変更後の実施年度					<p>・所有面積の割合には売却効率が悪い、今後十分検討実施された</p> <p>い。</p>
			H22	H23	H24	H25	H26	
			協議・検討 → 推進 →					
			1,000㎡	販売目標 1,500㎡	1,500㎡	2,000㎡	2,000㎡	
H23年度の目標	年度前半に入札販売を実施し、応札がなかった土地は、その後、随意契約で希望者に販売を推進する。							

## 神栖市改革推進プラン（平成22年度～平成26年度）取組状況≪H24年度検証用≫

推進項目		3 健全財政の継続 ① 経常経費の削減等		プラン作成当初の実施目標				
				H22	H23	H24	H25	H26
番号	41	担当課	管理課	実施 				
項目名	公用車台数の削減		新規	公用車台数 10台→9 台	8台	7台	6台	5台
概要	波崎総合支所の組織の見直しにより、所管する公用車の稼働率が低い（H21：54％）ことから、台数を調整し管理経費の削減を図る。			変更後の実施目標				
				H22	H23	H24	H25	H26
				各年度末におけるプラン全体に対する達成率（進捗率）				
				H22	H23	H24	H25	H26
				20.0%	40.0%			

### ● H23年度の取組状況

H23年度の状況	単年度達成率	取組内容及び進捗状況	使用頻度が高く、勤務時間外や休日の使用も多い教育総務課に共用車1台の所管換えを行った。				
	100.0%		H24年4月1日現在の管理課で管理している車両 8台 ※5台が購入後10年以上経過（うち3台は走行距離15万km超）				
		問題点課題等					
プラン変更			プラン変更後の実施年度				
			H22	H23	H24	H25	H26
H24年度の目標	H23年度の稼働率（稼働時間で算出）は30％と低いことから今後も修繕費等や車検満了日を考慮しながら台数の削減を図る。						

### ● プランに取組むことによって得られる効果など

取組前の状況	取組後に得られる効果

● H 2 2 年度の取組状況

				行財政改革推進委員会からの評価及び指摘事項
H22年度 の 状況	単年度 達成率	取組内容 及び 進捗状況	稼働率の低い（H 2 1 年度 5 4 %）中で、長寿介護課（波崎包括支援センター）から申し出があり、狭い路地等が多い波崎地区では使い勝手の良い軽自動車 1 台を所管換えした。 低年式（購入後 1 0 年以上）、多走行距離（1 0 万 km 以上）で老朽化している車両から廃車する予定であるが、車検満了日の関係や現車両の中で大きな修繕等も無かったことから継続して使用することとした。	A 十分評価できる ■ ■
	100. 0%			C 評価できない ■ ■ ■
	問題点 課題等			D どちらとも言えない
H23年度 の 目標	H 2 3 年度に入りすぐ車検満了となる車両について廃車の検討をしていたが、震災対応のため公用車の使用が多いことから継続して使用することとし、今後は震災の対応状況、公用車の使用状況、修繕等の状況を考慮したうえで公用車の削減を図りたい。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・全庁的に検討すべきである。</li> <li>・乗車人数／1台あたりの検討を要す。</li> <li>・目的にあった車を最小限、最小維持費になるよう抜本的見直しが必要である。レンタカー等の検討。</li> <li>・稼働率については、1台あたりの稼働時間で計算。</li> </ul>



## 神栖市改革推進プラン（平成22年度～平成26年度）取組状況≪H24年度検証用≫

推進項目		3 健全財政の継続 ① 経常経費の削減等		プラン作成当初の実施目標				
				H22	H23	H24	H25	H26
番号	42	担当課	開発指導課	要項改正			実施・経過措置	
項目名	住宅資金利子補給金交付の廃止		新規	支払対象 (H19～22 申請分) 1,127件	支払対象 (H20～23 申請分) 1,166件	支払対象 (H21～24 申請分) 1,188件	支払対象 (H22～24 申請分) 900件	支払対象 (H23～24 申請分) 600件
概要	近隣市と比較しても住宅着工件数が多く、事業目的である定住促進が図られていることから、経費削減の面からも、利子補給金交付の廃止（H24年末をもって申請受付を終了）に向け事業見直しを行う。			変更後の実施目標				
				H22	H23	H24	H25	H26
				各年度末におけるプラン全体に対する達成率(進捗率)				
				H22	H23	H24	H25	H26
				80.0%	90.0%			

### ● H23年度の取組状況

H23年度の状況	単年度達成率	取組内容及び進捗状況	住宅資金利子補給金交付の廃止に向け、広報紙・ホームページ、窓口や電話等での問い合わせにおいて申請受付終了の周知に努めた。（広報紙に2回掲載）				
	100.0%		問題点課題等	交付対象者の申請忘れがないよう受付期間中は、広報紙・ホームページ等で申請受付終了の周知徹底を図る。			
プラン変更			プラン変更後の実施年度				
			H22	H23	H24	H25	H26
H24年度の目標	申請受付最終年になるので、窓口での案内、広報紙の掲載回数を増やすなど受付終了の周知を図る。						

### ● プランに取組むことによって得られる効果など

取組前の状況	取組後に得られる効果

● H22年度の取組状況

			行財政改革推進委員会からの評価及び指摘事項
H22年度の状況	単年度達成率		
	100.0%	取組内容及び進捗状況	住宅資金利子補給金交付の廃止に向け、H24年12月28日を失効日とする要項改正を行った。窓口や電話等での問い合わせにおいても申請受付終了の周知に努めた。
		問題点課題等	交付対象者の申請忘れがないよう受付期間中は、広報紙・ホームページ等で申請受付終了の周知徹底を図る。
H23年度の目標	継続して申請受付終了について、広報紙・ホームページ等で周知を図る。		

行財政改革推進委員会からの評価及び指摘事項

A 十分評価できる



B まあまあ評価できる




C 評価できない



D どちらとも言えない



# 神栖市改革推進プラン（平成22年度～平成26年度）取組状況<<H24年度検証用>>

推進項目		3 健全財政の継続 ② 歳入の確保		プラン作成当初の実施目標				
				H22	H23	H24	H25	H26
番号	43	担当課	財政課	推進 				
項目名	使用料・手数料等の適正化	継続	旧No.54	変更後の実施目標				
概要	見直しの基本的な考え方を示し、現状把握と、行政と受益者の負担割合について各担当課から意見聴取を定期的に行うとともに、市民生活への影響を勘案しながら料金等の見直しを進める。また、財源確保の観点から、滞納分の徴収強化により、縮減を図っていく。			H22	H23	H24	H25	H26
				各年度末におけるプラン全体に対する達成率(進捗率)				
				H22	H23	H24	H25	H26
				—	—	—	—	—

## ● H23年度の取組状況

H23年度の状況	単年度達成率	取組内容及び進捗状況	<p>◎市の改正方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主財源の確保と受益者負担の原則の両側面から、市民に不公平感を与えることのないよう、現状の定期的把握と受益者の負担割合を考慮し、原価分(かかる経費)となるよう、定期的(3年程度)に見直しを進める。</li> <li>・使用料・手数料の適正化に係る現況調査結果より、「要検討」「要改定」の回答53件について、その後の取り組み状況等を追跡調査。</li> <li>・H23年度の改定事項 公共下水道使用料(H23.6月) 通園バス保護者負担金(H23.4月)</li> <li>・税以外の手数料、延滞金の徴収について総合的な整理をし、市の債権について管理の適正化を図った。(督促手数料及び延滞金徴収条例改正H24.3月)</li> </ul>				
	100.0%		問題点課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所の子ども園への移行(H25)に伴う保育所保育料の改定</li> <li>・日川浜海水浴場整備終了(H26)に伴う市営駐車場使用料(日川浜、豊ヶ浜)の料金統一</li> </ul>			
プラン変更			プラン変更後の実施年度				
			H22	H23	H24	H25	H26
H24年度の目標	H23年度に引き続きヒアリングの実施により現状を把握し、適切な見直しをしていく。						

## ● プランに取組むことによって得られる効果など

取組前の状況	取組後に得られる効果

● H 2 2 年度の取組状況

			行財政改革推進委員会からの評価及び指摘事項	
H22年度 の 状況	単年度 達成率	取組内容 及び 進捗状況	<p>◎市の改正方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主財源の確保と受益者負担の原則の両側面から、市民に不公平感を与えることのないよう、現状の定期的把握と受益者の負担割合を考慮し、原価分（かかる経費）となるよう、定期的（3年程度）に見直しを進める。</li> <li>・H21年度に、19年度に引き続き使用料・手数料の適正化に係る現況調査の結果、「要検討」又は「要改定」回答53件について、ヒアリングを実施（H22.8.5）</li> <li>・H22年度での改定事項…公共下水道使用料（H23年6月より施行）</li> <li>・財源確保の観点から、滞納分の徴収強化による未収金の縮減</li> </ul>	<p>A 十分評価できる</p> <p>■■■■■</p> <p>B まあまあ評価できる</p> <p>■■■■■</p> <p>C 評価できない</p> <p>■</p> <p>D どちらとも言えない</p>
	100.0%			問題点 課題等
H23年度 の 目標	H22年度に引き続きヒアリングの実施による現状の把握と、適切に見直しをしていく。			

## 神栖市改革推進プラン（平成22年度～平成26年度）取組状況<<H24年度検証用>>

推進項目		3 健全財政の継続 ② 歳入の確保		プラン作成当初の実施目標				
				H22	H23	H24	H25	H26
番号	44	担当課	こども課	検討		見直し実施		
項目名	保育料徴収基準額の適正化		継続 旧No.43			児童年齢区分の細分化、基準額の見直し		
				変更後の実施目標				
				H22	H23	H24	H25	H26
				検討		見直し実施		
				各年度末におけるプラン全体に対する達成率(進捗率)				
				H22	H23	H24	H25	H26
概要				50.0%	60.0%			
近隣市町とバランスを図り、年齢ごとの保育単価の相違を踏まえ公平性のある保育料とするため、子ども手当ての支給事業やH22年度から実施されている当市施策の第3子以降就学前保育料無料事業などとの整合性を勘案しながら、保育料徴収基準額の適正化を図る。								


### ● H23年度の取組状況

H23年度の状況	単年度達成率	取組内容及び進捗状況	保育料徴収基準額の適正化を図るため、H24年度に料金改定案を実施に向け検討していたが、東日本大震災の影響（保育料免除）及び見送った「総合こども園」の施行に伴う保育料の改定が見込まれたことから料金改定を見送った。				
	50.0%		問題点課題等				
プラン変更	制度改正により料金改定が見込まれることから平成25年度以降に延長する。		プラン変更後の実施年度				
			H22	H23	H24	H25	H26
		検討		見直し実施			
H24年度の目標	制度改正により料金改定が見込まれることから、情報を収集しながら料金改正に向かって準備を進める。						

### ● プランに取組むことによって得られる効果など

取組前の状況	取組後に得られる効果

● H22年度の取組状況

			行財政改革推進委員会からの評価及び指摘事項	
H22年度の状況	単年度達成率	取組内容及び進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育料徴収基準額の見直しを検討するため、近隣市町の保育料金の情報収集を行った。</li> <li>・ 児童年齢ごとの保育単価の相違や近隣市町の徴収基準額の動向を踏まえ、細分化した料金設定案を検討した。</li> </ul>	A 十分評価できる 
	100.0%			問題点課題等
H23年度の目標	細分化した保育料徴収基準額を検討し、見直し制度の制定を目指す。			

# 神栖市改革推進プラン（平成22年度～平成26年度）取組状況<<H24年度検証用>>

推進項目		3 健全財政の継続 ② 歳入の確保		プラン作成当初の実施目標				
				H22	H23	H24	H25	H26
番号	45	担当課	下水道課	検討	実行			
項目名	下水道料金適正化の検討		新規	変更後の実施目標				
概要	H8年4月改定以来据え置かれている下水道使用料を改定し、一般会計からの繰入金を削減し、健全化経営を図る。			H22	H23	H24	H25	H26
				各年度末におけるプラン全体に対する達成率(進捗率)				
				H22	H23	H24	H25	H26
				100.0%	—	—	—	—

## ● H23年度の取組状況

H23年度の状況	単年度達成率	取組内容及び進捗状況	H23年度6月使用より20m <sup>3</sup> 当たり23.5%の料金改定を行った。				
	100.0%						
	問題点課題等						
プラン変更			プラン変更後の実施年度				
			H22	H23	H24	H25	H26
H24年度の目標	/						

## ● プランに取組むことによって得られる効果など

取組前の状況	取組後に得られる効果
料金見直し前（H21年度）の下水道使用料	料金見直し後（H23年度）の下水道使用料
基本料金10m <sup>3</sup> 840円	基本料金10m <sup>3</sup> 1,050円
従量料金 11m <sup>3</sup> 94.50円	従量料金 11m <sup>3</sup> ~20m <sup>3</sup> 115.50円
21m <sup>3</sup> ~50m <sup>3</sup> 105円	21m <sup>3</sup> ~50m <sup>3</sup> 126円
51m <sup>3</sup> ~100m <sup>3</sup> 115.50円	51m <sup>3</sup> ~100m <sup>3</sup> 136.50円
101m <sup>3</sup> ~ 126円	101m <sup>3</sup> ~ 147円

● H22年度の取組状況

			行財政改革推進委員会からの評価及び指摘事項	
H22年度の状況	単年度達成率	取組内容及び進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月24日に第1回下水道料金適正化検討委員会を開催し、設置要項に基づき委員12名に委嘱をした。委員会は、計4回開催し、関係資料等を十分検討し、慎重に審議を重ねた。</li> <li>・ 1月20日、下水道使用料の改定について市長に答申した。</li> <li>・ H23年第1回定例会に下水道条例の一部改正を提出し議決された。</li> </ul>	<p>A 十分評価できる ■■■■■</p> <p>B まあまあ評価できる ■■■■■</p> <p>C 評価できない ■</p> <p>D どちらとも言えない ■</p>
	100.0%			
H23年度の目標			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成8年4月から改定されていないことは大変遅すぎだと思う。</li> <li>・ 4年に1度の見直しを必ず継続して行っていただきたい。</li> </ul>	



# 神栖市改革推進プラン（平成22年度～平成26年度）取組状況<<H24年度検証用>>

推進項目		3 健全財政の継続 ② 歳入の確保		プラン作成当初の実施目標				
番号	46	担当課	商工観光課	H22	H23	H24	H25	H26
項目名	市営駐車場使用料の見直し		新規					
概要	日川浜と豊ヶ浜の駐車料金が異なるため、管理経費と利用料収入とのバランスを考慮した料金の見直しを行い、設置及び管理に関する条例を一本化し、料金を統一する。			変更後の実施目標				
				H22	H23	H24	H25	H26
				各年度末におけるプラン全体に対する達成率(進捗率)				
				H22	H23	H24	H25	H26
				10.0%	20.0%			

## ● H23年度取組状況

H23年度の状況	単年度達成率	取組内容及び進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理経費と利用料収入との比較調査</li> <li>市外海水浴場駐車場の利用状況調査</li> <li>適正な利用料金設定の検討</li> </ul>				
	100.0%						
	問題点課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>津波及び放射能風評被害等の影響による駐車場利用料の減少</li> <li>豊ヶ浜駐車場の飛砂対策経費の抑制</li> </ul>					
プラン変更	日川浜海岸整備事業の完成に併せて実施する予定であり、実施計画により整備事業が先送りとなったため、当プランについてもH26年度末料金改定、H27年度実施に変更する。		プラン変更後の実施年度				
			H22	H23	H24	H25	H26
H24年度の目標	諸調査を継続実施しながら、収支バランス及び市外海水浴場駐車場料金の状況を考慮した適正な料金設定を引き続き検討する。						

## ● プランに取組むことによって得られる効果など

取組前の状況	取組後に得られる効果
21年度の状況 使用料の見直し前 ○日川浜 普通 4,866台×200円 二輪 0台×50円 中型 3台×1,030円 大型 4台×1,540円      日川浜合計=982,450円 ○豊ヶ浜 普通 10,625台×500円 二輪 77台×200円 中型 3台×1,000円 大型 8台×1,500円      豊ヶ浜合計=5,342,900円	(日川浜駐車場使用料を豊ヶ浜駐車場使用料と同額とした場合) ○日川浜 普通 4,886台×500円 二輪 0台×200円 中型 3台×1,000円 大型 4台×1,500円      日川浜合計=2,452,000円 ○豊ヶ浜 普通 10,625台×500円 二輪 77台×200円 中型 3台×1,000円 大型 8台×1,500円      豊ヶ浜合計=5,342,900円 取組後7,794,900円－取組前6,325,350円=1,469,550円の増収

● H22年度の取組状況

							行財政改革推進委員会からの評価及び指摘事項	
H22年度の状況	単年度達成率	取組内容及び進捗状況	管理経費と利用料収入を考慮して駐車場の料金を統一するため、駐車場の管理経費と利用料収入の数年分の実績や、市外海水浴場駐車場の状況等を把握した。					A 十分評価できる ■■■■
	100.0%							問題点課題等
プラン変更	日川浜海岸整備事業の完成に併せて実施する予定であったが、震災により整備事業が先送りとなったため、当プランについてもH25年度末料金改定、H26年度実施に変更する。	プラン変更後の実施年度					<ul style="list-style-type: none"> <li>・収支のバランス、近隣市とのバランスをとりながら見直しをする必要あり。</li> <li>・日川浜の海岸環境整備事業の完了した時点ではなく早急に料金の統一は行なうべき。</li> </ul>	
		H22	H23	H24	H25	H26		
H23年度の目標	駐車場の料金を統一するため、駐車場の管理経費と利用料収入の数年分の実績や、市外海水浴場駐車場の状況等を調査しながら料金設定の検討をする。							

## 神栖市改革推進プラン（平成22年度～平成26年度）取組状況≪H24年度検証用≫

推進項目		3 健全財政の継続 ② 歳入の確保		プラン作成当初の実施目標				
				H22	H23	H24	H25	H26
番号	47	担当課	学務課	検討・決定	実施			
項目名	幼稚園バスの有料化	継続	旧No.57	変更後の実施目標				
概要	波崎地域の幼稚園には園児の送迎バスがないため、神栖地域の幼稚園バスを有料化することで、地域による不公平感を和らげる。			H22	H23	H24	H25	H26
				各年度末におけるプラン全体に対する達成率(進捗率)				
				H22	H23	H24	H25	H26
				80.0%	100.0%			

### ● H23年度の取組状況

H23年度の状況	単年度達成率	取組内容及び進捗状況	4月より、利用者負担金として月額2,000円の徴収を開始。私立幼稚園（平泉幼稚園）についても、利用者負担金2,000円の有料化を実施し、有料化分について、バス運行費補助金を減額して交付することとした。				
	100.0%		問題点課題等	すべての園において公平なサービスとなるよう、通園バスの運行について、更に検討が必要である。			
プラン変更			プラン変更後の実施年度				
			H22	H23	H24	H25	H26
H24年度の目標	通園バス運行について、公平なサービスが提供できるよう慎重に検討していく。						

### ● プランに取組むことによって得られる効果など

取組前の状況	取組後に得られる効果

● H22年度の取組状況

			行財政改革推進委員会からの評価及び指摘事項
H22年度の状況	単年度達成率		<p>保護者へのアンケート調査の結果、有料化になっても少額の負担であればバスを利用するとの回答が多かった。現行のバス運行費は、1人当たり月額6,000円程度となっているが、検討の結果、H23年度から月額2,000円を徴収することとなった。私立幼稚園（平泉幼稚園）についても、H23年度より私立幼稚園バス運行費補助金について、公立幼稚園バス負担金と同額の1人当たり2,000円を減額することとなったため、有料化を実施。</p>
	100.0%	取組内容及び進捗状況	
		問題点課題等	<p>送迎バスの運行については旧神栖地区3園のみであるため、公平なサービスとなるようさらに検討が必要である。またバスの老朽化により、通園バスの廃止も検討課題となっている。</p>
H23年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月から利用者一部負担として月額2,000円の徴収を開始する。</li> <li>・私立幼稚園バス運行補助金について、利用者負担分1人当たり月額2,000円相当の補助金を減額する。</li> </ul>		<p>A 十分評価できる ■■■</p> <p>B まあまあ評価できる ■■■■■■■■■■</p> <p>C 評価できない ■</p> <p>D どちらとも言えない</p> <p>・市の都合で廃止検討するのではなく、市民の利便、環境等も踏まえて検討すること。 ・交通安全等の面から考えても、運行費用を徴収し全園児バス通園が望ましいと思う。 ・可能な限り早く統一すべきである。</p>